



東風

岩井こう 5期目に挑戦



4期16年、今年の6月議会まで63回の定例議会すべてで質問に立ち、市民のみなさんのご意見・ご要望を市政に届けてきました。

高齢者のお出かけ支援バス「あびバス」運行を、布佐地区にも取り組んできました。地球温暖化対策としての「自然エネルギーの有効活用」を、一貫して呼びかけてきました。防災無線だけでは市民を守れないとして、「防災ラジオ」の実施を強く要望してきました。

今年1月末から恒例の「くらしアンケート」を行い、850を超える回答を寄せられました。「生活が苦しくなった」が、4年前の57%から73%へと急増しています。原油高騰・物価高騰、特に光熱水費などが暮らしを圧迫しています。6月議会では、国・県任せではなく、非課税・一人親世帯をはじめ市民全体に向けて市独自の対策をと質問しました。

5期目に向けて、これまで以上に頑張ります。

平和と暮らしを守ります

岩井議員の選挙公約

- 子どもの医療費、学校給食費の完全無償化を実現します
- 市の独自採用で、教員不足解消 子どもたち一人ひとりに行き届いた教育をすすめます
- 「高齢者なんでも相談室」をもっと増やし、補聴器購入費用の補助制度をつくります
- 布佐地域へ「あびバス」を運行させます
- 聞こえない防災無線、各家庭に「防災ラジオ」設置を
- 自然エネルギーを活用した街づくりをすすめます
- 小企業支援とセットで、最低賃金時給1500円に
- ◇消費税は、緊急に5%に減税 インボイスは中止を
- ◇マイナカード強要反対 いまの健康保険証は存続を

市民のみなさんの要望を実現しました！

カーブミラーの設置

恒例の「くらしのアンケート」で布佐の方から要望がありましたカーブミラーの設置について、岩井康議員と住民が市と交渉をして8月末に、布



佐1丁目17番地に設置することができました。ここは通学路でもあり、スーパーナリタヤ裏で交通量も多く地元から要求が出されてい

岩井さん頑張っています

岩井こうさんは、天王台駅・湖北駅・新木駅・布佐駅の4カ所で、朝の通勤・通学の時間帯の6時30分〜7時30分に後援会の仲間と駅頭宣伝をしています。



岸田政権の国民をないがしろにした政策や、9月議会で質問した、自然豊かな手賀沼を取り戻す対策と課題、具体的なコロナ対策、防災対策について報告しました。「あなたの？におこたえします」のパンフを受け取り、「頑張ってください！」と声をかけてくれました。また、各地域の街頭で、共産党の政策を訴え頑張っています。

安全な通学路に



布佐のアンダーパスから2つ目の交差点で、栄橋に向かうために左折をする際に大型車両が回り切れずガードレール等を4回にわたって壊しています。この道路は通学路でもあり、大変危険なので岩井康議員が市の道路課に改善要請をしてきました。通学路でもありません。市としても安全を確保しなければなりません。市としてもしっかりと調査をし、県に具体的に要請することを確認しました。

破壊されたガードレールは要請後その都度修繕されましたが、9月現在も橋脚を支えるコンクリートが割れたままになっており、改修を要請しています。

9月議会報告

9月議会は、8月28日(月)から9月21日(木)の25日間の会期で行なわれ、代表質問6名、個人質問6名の計12名が質問に立ちました。

今議会で特出すべき点は、請願第22号「学校給食費完全無償化請願」について全員採択で可決されたことです。また、9月議会は決算議会でもあり、2022年の決算について、これまで何度も監査委員会から指摘されていきました不用額については今回も20億円となり、同委員会から「歳出予算では、増額補正や予備費の充用を行ったものの、多額の不用額が発生した状況があったため、積算内容を十分に精査したうえで予算要求を行うとともに、適正な予算の執行管理が必要である」とありました。

より、千葉県、国の責任で実施すべき課題。県・国に対する課題の提起が求められるとともに、市として内外の専門家による検討プロジェクトを立ち上げ、対応することを提起する。

極めて困難な課題であるが、市議会、市当局が一体に取り組むことが必要ではないか。

市の回答

1、手賀沼での放射線セシウムの動態の解明や、将来を見据えての対策の在り方の研究が必要であり、放射能対策については引き続き国や県と協議を進めていく。

2、手賀沼の放射能問題は直接的に管理している県、間接的に責任を持っている国にしっかりと対応してもらうため、知見を集めながらやることを国や県に働きかける。

コロナ対策について

岩井議員は、「手賀沼に関する諸課題の対策 コロナ対策 防災対策」の3点について代表質問を行いました。

手賀沼に関する諸課題の対策について

福島原発事故前の自然豊かな手賀沼を取り戻すことは、我孫子市はもと

様に本市でも患者数は増加していると推測される。新型コロナウイルス感染者数が定点医療機関からの報告となったため、ホームページに千葉県感染症情報センターのリンクを貼り、他の感染症も含め情報提供している。市の対応としては、重症化予防のため、希望者がワクチン接種を受けられる体制を確保していく。

防災対策について

災害時に現実として情報を得られない方への対応を考えるのが行政の役割。

防災無線ではなく、防災ラジオの配備が何として必要でないか。

防災ラジオの導入については様々な課題があることから、災害情報が伝わりにくい方を含め、市民にきめ細かく情報伝達をしていくためには、様々な情報伝達方法を引き続き総合的に検討していく。

市の回答

6月議会で市は、6月の2号台風時にメールなどで一斉送信し市民に情報を伝えられたと回答した。しかし、親族から電話で避難を伝えられたり、スマホやパソコンに送信されても情報が取れない市民もいたことをどう考えるのでしょうか。

※市民の声

新型コロナウイルス感染症の類型が5類に移行後、市内、県内の状況が全く見えない状況となった。市内の感染状況と市としての対応について具体的な内容を知らせてほしい。

市の回答

全国的な増加傾向と同

岩井こうを励ます会



10月7日(土) 湖北台市民センターで後援会員と元衆議院議和子(南関東ブロック予定候補)さんも参加して「岩井こうを励ます会」が行われました。

はじめに、さいとう和子さんが岸田政権の問題点を話し、住民を守るために岩井こう議員が絶対に必要であることを訴えました。

岩井こう議員は4期16年間の実績を話し、5期目をさす決意として公約を発表し決意を表明しました。その後、二人から岩井こうさんを当選させる力強い応援の言葉がありました。最後に岩井こう当選のため「頑張ろう!」を力強く行いました。

選挙事務所開き



岩井こうを励ます会終了後、岩井こう事務所選挙に向けての事務所開きを行いました。

加藤県議が駆けつけ、「共産党議員が一人でも二人でも多くいると、市民の暮らしと平和を守る上でかけがえのないものである。だから絶対に岩井さんと船橋さんを当選させるために頑張らなう。」と力強く参加者に訴えました。

その後、岩井こうさんが「岩井こうさんを励ます会」を受けて、名実ともに選挙出発にあたって「公約を実現するために頑張ります。」と力強く決意表明を行いました。

参加者は、岩井こうさん当選のために、支持拡大や宣伝等を頑張っていくことを確認し合いました。



政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊 ● 月 3497円
日曜版 ● 月 930円

無料法律相談

東葛事務所の弁護士による相談です。
相談のある方はご連絡をお願いいたします。

相談日 毎月第4木曜日 14:00~16:00
場所 岩井事務所
連絡先 090-7250-7213

